

第4章 基本方針

第1節 基本理念と基本方針

「保存活用計画」では、大綱として「地域とともに進化(深化)を続ける縄文時代の祈りの村「八天遺跡」を掲げ、これを実現するために次の6つの基本方針を定めている。

- 史跡の本質的価値を恒久的に保護し、確実に未来に継承する。
- 協働の手法を活用しながら、地域を核とした史跡の保存管理・活用を行う。
- 市内の他の史跡や文化財・教育文化施設と連携した保存管理・活用を行う。
- 縄文時代の生活と祈りを身近に感じられるような活用整備を目指す。
- 北上川を見渡す景観の過去と未来に思いを馳せることのできる空間の創出を目指す。
- 継続的な調査研究により、発見の驚きと喜びに満ちた空間の創出を目指す。

また、これら大綱・基本方針の下で保存・活用・整備・運営体制について方向性を定めている。本計画ではこれらを受けて、次の理念と基本方針を定めて整備を進めることとする。

(1) 基本理念

北上市は、史跡八天遺跡についての調査研究を推進し、市民・地域と協働しながら史跡の本質的価値を恒久的に保護する。度重なる建て替えによって、長期間シンボリックなモニュメントであり続けた、大形円形建物を中心とする祈りの場としての特長を反映させた史跡景観の創出・保全を図る。史跡の価値や魅力を広く伝えるとともに、まちづくり・地域づくりに活用しながら未来に継承する。

(2) 基本方針

- 史跡の本質的価値を恒久的に保護し、確実に未来に継承するため、遺構保護層(盛土)を措置する。
- 縄文時代の生活と祈りを身近に感じられるようにするために、史跡の本質的価値である遺構等の表示を工夫する。
- 北上川を見渡す景観の過去と未来に思いを馳せることのできる空間を創出するため、眺望の確保や地形の理解を目的とした整備を行う。
- 地域を核とした史跡の保存管理・活用を行うため、持続的に維持管理しやすい整備を行う。
- 市内の史跡や文化財・教育文化施設との連携を前提に、本史跡ならではの特長に配慮した整備を行う。
- 誰もが見学しやすい環境を確保するために、園路を整備し、その他は芝などによりグランドカバーを施す。
- 利用者の来訪しやすい環境を整えるために、史跡外に駐車場・駐輪場・トイレを整備する。